

教育研究評議会議事要録

日時 平成17年 9月13日(火) 13:30~15:05

場所 事務局大会議室

出席評議員 遠藤(学長・議長), 大関, 中澤, 久慈, 藁科, 佐藤(三), 南條, 豊川, 對馬, 矢島, 丹野, 石堂, 星野, 佐藤(敬), 佐々木(甚), 宮田, 加藤, 佐々木(大), 雨森, 吉田, 市川, 片野の各評議員

役員等陪席者 永井監事

事務局陪席者 渡邊総務部長, 三浦総務課長, 松井教務課長, 齋藤入試課長他

配付資料

- 資料1 (事前配付) 弘前大学と鱒ヶ沢町の地域連携事業に関する協定書(案)
- 資料2 (当日配付) 様式(1)
- 資料3 (当日配付) 教員の免許状授与の所要資格を得させるための課程認定申請について
- 資料4 (当日配付) 国立大学法人弘前大学環境報告書作成専門委員会内規
- 資料5 (当日配付) 弘前大学マッチング研究支援事業 一弘大GOGOファンダー
- 資料6 (当日配付) 弘前大学産学官連携ポリシー
- 資料7 (当日配付) 21世紀教育センター運営委員会報告要旨
- 資料8 (当日配付) 教育・学生委員会(第16回)議事要録(案)
- 資料9 (当日配付) 研究・施設マネジメント委員会報告
- 資料10 (当日配付) 社会連携委員会議事要旨(案)

- ◎ 議事に先立ち, 7月12日, 7月26日(経営協議会との合同会議)及び8月10日(臨時)開催の議事要録(案)の確認が行われ, 7月26日開催分の一部を次のとおり訂正の上, 承認された。

7頁の「(6)教育に係る取り組みについて」の23行目

「例えば, 今回の「カリキュラム改正骨子案」の第1案では, 英語力の向上ということで「英語Ⅰ」を必修としているが, これで卒業するというのでは, 」を

「例えば, 今回の「カリキュラム改正骨子案」の第1案では, 英語力の向上ということで「英語Ⅱ」を必修とすることを計画したが, 担当者の確保が困難ということで, 現状では, これまで通り, 「英語Ⅰ」の必修に止めざるを得なかった。これで卒業するというのでは, 」に訂正。

審議事項

議題1 アイソトープ総合実験室長の推薦について

学長から, 平成17年9月30日をもって任期満了となるアイソトープ総合実験室長の後任者選考について, 管理運営規則第29条第2項の規定により, 本評議会の推薦に基づき, 学長が任命することになっていること, また同実験室から, 学長あて阿部現室長を推薦するとの文書をいただいている旨説明があり, 審議の結果, 同実験室から推薦のあった現室長の阿部由直医学部医学科教授を次期室長候補者として推薦することが承認された。任期は, 平成17年10月1日から2年間。

議題2 弘前大学と鯉ヶ沢町の地域連携事業に関する協定締結について

久慈理事から、資料1に基づき、鯉ヶ沢町との地域連携事業の経緯について、また、協定の目的、協力事項、協議事項等の協定内容について説明があり、審議の結果、原案どおり了承され、役員会へ提案することとした。

報告事項**報告1 教員人事について****(1) 教員の昇任**

薬科人文学部長、佐藤教育学部長及び対馬医学部保健学科長から、資料2に基づき、下記教員の採用及び昇任について報告があった。

| | | |
|---------|----------------------|--------------------|
| 人文学部 | 柴田 英樹 (三優監査法人マネージャー) | 助教授採用 (17.10.1 付け) |
| 教育学部 | 小玉 正志 (同学部助教授) | 教授昇任 (17.10.1 付け) |
| | 平田 淳 (同学部講師) | 助教授昇任 (17.10.1 付け) |
| 医学部保健学科 | 武田 春美 (福島県立医大講師) | 助教授採用 (17.9.1 付け) |

報告2 教員の免許状授与の所要資格を得させるための課程認定申請について

南條理工学部長から、資料3に基づき、平成18年4月に予定されている学科編成に伴う課程認定の申請について、次のとおり報告があった。

| | | |
|---------|------------|-------------|
| 数理科学科 | 中学校一種 (数学) | 高等学校一種 (数学) |
| 物理科学科 | 中学校一種 (理科) | 高等学校一種 (理科) |
| 物質創成化学科 | 中学校一種 (理科) | 高等学校一種 (理科) |
| 地球環境学科 | 中学校一種 (理科) | 高等学校一種 (理科) |
| 電子情報工学科 | | 高等学校一種 (情報) |
| 知能機械工学科 | | 高等学校一種 (工業) |

報告3 オープンキャンパスについて

大関理事から、8月9日(火)に実施されたオープンキャンパスについて、高校生、保護者、教諭が2,940人参加され、模擬講義、実験実習体験などを行ったこと、また、参加者からは、本学の教員、学生と直接話げできたことにより、本学への理解が深まった旨の感想があったことなどの報告があった。

報告4 環境報告書作成専門委員会の設置について

中澤理事から、資料4に基づき、いわゆる「環境配慮促進法」が本年4月1日に施行され、本学が「特定事業者」に指定されたことに伴い、「国立大学法人弘前大学環境報告書作成専門委員会内規」(平成17年9月7日制定)を制定した旨報告があり、内規の概要について説明があった。

報告5 弘前大学マッチング研究支援事業について

久慈理事から、資料5に基づき、青森県の産業振興並びに地域振興を図るため、県内等企業が実用化研究に取り組み、抱えている具体的な課題を、弘前大学の「知」で解決を目指す研究に対して、研究費等を支援することを趣旨とする「弘前大学マッチング研究支援事業ー弘大GOGOファンダー」の事業内容等について説明があり、9月9日(金)に報道機関へ公表した旨報告があった。

また関連して、地域貢献の一環として、企業を中心とする地域と大学間の連携をより強化することを目的として、機器分析センターの分析機器を地元企業に対して開放することについて、牧野センター長から報道機関へ公表した旨報告があった。

報告6 弘前大学産学官連携ポリシーについて

久慈理事から、資料6に基づき、「社会連携」活動の中で本学がこれまでに蓄積した「知」を地域社会に効果的に還元し、青森県さらには我が国産業の持続的発展及び人類社会の発展に貢献することを目的に、①自由な発想に基づく基礎的・創造的な研究及び社会的要請に基づく研究を推進すること、②サテライトネットワークを含む、組織としての産学官連携体制を整備し、主体的、かつ透明性の高い産学官連携活動を展開すること、③知的財産の創出、保護、活用を通じ、社会への説明責任を果たすことなど6項目にわたる「弘前大学産学官連携ポリシー」について説明があった。

報告7 委員会報告

(1) 21世紀教育センター運営委員会

矢島センター長（同委員会委員長）から、資料7に基づき、7月21日及び9月6日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

（7月21日）

- 平成17年度前期末・後期開始時の日程
- 平成17年度後期授業時間割
- 平成18年度カリキュラム改正
- 弘前大学21世紀教育センター紀要編集及び刊行募集（案）

（9月6日）

- 平成17年度内部監査
- 平成17年度「特色ある大学教育支援プログラム」の審査結果
- 学期途中の学生からのフィードバック
- 平成17年度4年生に対する学生アンケート
- 平成17年度前期末試験追試験
- 21世紀教育センター運営委員会及び21世紀教育センター科目主任における任期に関する申合せ（案）
- 平成18年度カリキュラム改正 ほか

(2) 教育・学生委員会

大関理事（同委員会委員長）から、資料8に基づき、7月27日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

- 企業等及び卒業生等に対するアンケート調査
- 企業等実習（インターンシップ）履修年次の取扱い
- 平成18年度ホームページ用シラバスの作成
- インターネットを利用した遠隔授業
- 平成17年度オリンピック強化指定選手の認定
- TOEIC模擬試験の実施

(3) 研究・施設マネジメント委員会

中澤理事（同委員会委員長）から、資料9に基づき、9月7日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

- 平成18年度科学研究費補助金の申請
- 第2回大学改革シンポジウム
- 平成17年度学長指定重点研究
- 平成17年度大学教育の国際化推進プログラム（海外先進教育実践支援）

関連して評議員から、本学におけるアスベストの使用状況について質問があり、中澤理事及び市川施設環境部長から、現在調査中である旨回答があった。

(4) 社会連携委員会

久慈理事（同委員会委員長）から、資料10に基づき、7月28日開催の同委員会に

ついて、次の事項の概要について説明があった。

- 鱒ヶ沢町と弘前大学との地域連携
- 産学官連携ポリシー
- 戦略的経費
- 平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書
- 「弘前大学で生涯学習を」のパンフレット

報告6 その他

- (1) 雨森附属図書館長から、附属図書館主催で学術講演会「世界からアジアから見た日本の文化」（講演者 法政大学大学院特任教授 青木 保氏）を11月25日（金）16時から創立50周年記念会館みちのくホールで開催することの報告があった。
- (2) 学生の死亡事故について
豊川農学生命科学部長から、9月2日（金）に2年次の女子学生が自宅で自殺したこと、また、同日交通事故で3年次の男子学生が死亡したことの報告があった。
- (3) 次回開催日について
10月11日（火）15時から開催することとした。

報告終了後、学長から、9月末で任期満了となる豊川農学生命科学部長に対し、これまでに、本学及び農学生命科学部の発展に尽力されたことへの謝辞があり、同学部長から退任に当たっての挨拶があった。

以上